



## 平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年8月7日

上場会社名 大日本木材防腐株式会社  
コード番号 7907 URL <http://www.d-m-b.co.jp/>

上場取引所 名

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 鈴木 龍一郎  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員管理本部長 (氏名) 堤 時英

TEL 052-661-1502

四半期報告書提出予定日 平成27年8月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年3月期第1四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	5,780	△6.0	76	△19.1	94	△19.5	53	△28.9
27年3月期第1四半期	6,146	△6.3	94	△58.6	117	△54.1	74	△50.6

(注)包括利益 28年3月期第1四半期 100百万円 (34.5%) 27年3月期第1四半期 74百万円 (△50.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第1四半期	13.65	—
27年3月期第1四半期	19.21	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第1四半期	15,928	4,592	28.8
27年3月期	15,709	4,523	28.8

(参考)自己資本 28年3月期第1四半期 4,592百万円 27年3月期 4,523百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	—	—	7.50	7.50
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	7.50	7.50

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	12,500	△0.1	190	17.6	220	8.2	150	21.1	38.51
通期	24,700	0.2	410	17.3	480	6.4	330	15.2	84.72

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する情報(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する情報(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

28年3月期1Q	4,140,000 株	27年3月期	4,140,000 株
28年3月期1Q	244,260 株	27年3月期	244,260 株
28年3月期1Q	3,895,740 株	27年3月期1Q	3,895,088 株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する情報 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による経済政策や株高基調などを背景に企業収益は改善傾向を維持し、雇用環境も改善するなど緩やかな回復基調となりました。また、一方では、消費税率引き上げ後の個人消費の長期的な低迷や円安進行に伴う輸入原材料価格の上昇など依然先行きは不透明な状況が続いています。

当社グループ事業との関連が深い国内の住宅市場におきましては、住宅取得に対する税制優遇政策や住宅ローンの金利が低い水準で推移していることなどにより、消費税増税に伴う反動減から緩やかに持ち直しており、新設住宅着工戸数は23万5千戸（前年同期比7.6%増）となりました。しかしながら、木材事業に特に関係が深い持家や戸建分譲住宅は昨年と同様低い水準が続いています。

このような状況のなか、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高は57億8千万円（前年同期比6.0%減）、営業利益は7千6百万円（同19.1%減）、経常利益は9千4百万円（同19.5%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は5千3百万円（同28.9%減）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

木材事業では主に木造戸建住宅の構造材・羽柄材を扱っております。消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動減が長引き、持家や戸建分譲住宅の市況が低迷したため、プレカット製品やツーバイフォー用材などの売上げが減少しました。売上高は44億5千3百万円（前年同期比7.8%減）、セグメント損失は6百万円（前年同期はセグメント利益2千6百万円）となりました。

物流事業では主に子会社の東洋陸運株式会社が住宅関連資材の運送事業及び荷役事業を行っております。戸建住宅市場低迷のなか、営業全般にわたる見直しと燃料価格の低下などにより、売上高は11億9百万円（前年同期比1.8%減）と減少しましたが、セグメント利益は5千2百万円（同28.8%増）となりました。

不動産事業では賃貸用倉庫や賃貸用マンション等の賃貸業の他、平成26年9月からは太陽光発電売電事業を行っております。売上高は7千2百万円（同26.1%増）、セグメント利益は2千4百万円（同8.2%増）となりました。

木材害虫防除関連事業では防除用薬剤の製造・販売や防除工事等を行っております。消費税増税に伴う反動減の影響が収まり、売上高は1億4千4百万円（同10.6%増）、セグメント利益は1千6百万円（同3.9%増）となりました。

## (2) 財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末における財政状態は、前連結会計年度末に比べ純資産が6千3百万円増加し、総資産が2億1千8百万円増加したため、自己資本比率は変わらず28.8%となりました。増減の主なものは、資産では現金及び預金が1億6千6百万円、たな卸資産が7千8百万円増加しました。負債では電子記録債務が1億9千5百万円、借入金1億4百万円増加しました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期業績予想につきましては、平成27年5月13日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する情報

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計方針の変更）

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、  
「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。）  
及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を、当第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更いたしました。また、当第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更いたします。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58－2項（4）、連結会計基準第44－5項（4）及び事業分離等会計基準第57－4項（4）に定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

なお、当第1四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響額はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,038,414	2,204,699
受取手形及び売掛金	3,751,037	3,670,581
商品及び製品	1,219,751	1,226,622
仕掛品	49,977	47,912
原材料及び貯蔵品	475,767	462,717
未成工事支出金	52,215	139,262
その他	276,057	349,778
貸倒引当金	△7,100	△6,300
流動資産合計	7,856,121	8,095,273
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,622,266	2,619,859
土地	2,253,030	2,253,030
その他(純額)	740,524	688,596
有形固定資産合計	5,615,821	5,561,486
無形固定資産		
のれん	138,711	119,633
その他	15,330	14,505
無形固定資産合計	154,042	134,139
投資その他の資産		
投資有価証券	1,884,549	1,950,933
その他	242,459	230,045
貸倒引当金	△43,800	△43,700
投資その他の資産合計	2,083,209	2,137,279
固定資産合計	7,853,072	7,832,904
資産合計	15,709,194	15,928,178

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,955,192	3,812,281
電子記録債務	1,516,380	1,711,707
短期借入金	2,495,324	2,741,323
未払法人税等	61,845	35,205
賞与引当金	172,027	82,241
その他	472,429	565,542
流動負債合計	8,673,199	8,948,301
固定負債		
長期借入金	1,559,990	1,418,405
役員退職慰労引当金	183,153	186,516
退職給付に係る負債	189,356	188,073
資産除去債務	12,100	12,150
その他	568,152	581,888
固定負債合計	2,512,752	2,387,033
負債合計	11,185,952	11,335,335
純資産の部		
株主資本		
資本金	207,000	207,000
資本剰余金	4,544	4,544
利益剰余金	4,175,792	4,198,030
自己株式	△100,222	△100,222
株主資本合計	4,287,115	4,309,353
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	237,557	280,355
繰延ヘッジ損益	△1,430	3,133
その他の包括利益累計額合計	236,127	283,489
純資産合計	4,523,242	4,592,842
負債純資産合計	15,709,194	15,928,178

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
売上高	6,146,620	5,780,170
売上原価	5,448,509	5,121,346
売上総利益	698,110	658,823
販売費及び一般管理費	603,803	582,563
営業利益	94,306	76,260
営業外収益		
受取利息	6	7
受取配当金	5,004	5,485
為替差益	2,482	113
持分法による投資利益	22,632	14,277
雑収入	3,116	7,117
営業外収益合計	33,242	27,001
営業外費用		
支払利息	6,972	6,403
手形売却損	3,077	2,316
営業外費用合計	10,049	8,719
経常利益	117,500	94,543
特別利益		
固定資産売却益	3,087	1,248
特別利益合計	3,087	1,248
特別損失		
固定資産除却損	7,610	2,661
特別損失合計	7,610	2,661
税金等調整前四半期純利益	112,977	93,130
法人税等	38,162	39,961
四半期純利益	74,814	53,169
親会社株主に帰属する四半期純利益	74,814	53,169



## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
四半期純利益	74,814	53,169
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,631	34,447
繰延ヘッジ損益	102	4,563
持分法適用会社に対する持分相当額	1,467	8,350
その他の包括利益合計	△60	47,362
四半期包括利益	74,753	100,531
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	74,753	100,531

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

前第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額(注)2
	木材事業	物流事業	不動産事業	木材害虫防除 関連事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	4,828,790	1,129,800	57,194	130,834	6,146,620	—	6,146,620
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	—	30,553	—	—	30,553	△30,553	—
計	4,828,790	1,160,354	57,194	130,834	6,177,174	△30,553	6,146,620
セグメント利益	26,014	41,048	22,469	15,517	105,049	△10,742	94,306

(注)1. セグメント利益の調整額△10,742千円のうち、△11,342千円はのれん償却額であり、600千円はセグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額(注)2
	木材事業	物流事業	不動産事業	木材害虫防除 関連事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	4,453,566	1,109,808	72,143	144,651	5,780,170	—	5,780,170
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	—	23,824	—	—	23,824	△23,824	—
計	4,453,566	1,133,632	72,143	144,651	5,803,994	△23,824	5,780,170
セグメント利益 又は損失(△)	△6,323	52,851	24,316	16,122	86,966	△10,706	76,260

(注)1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△10,706千円のうち、△11,342千円はのれん償却額であり、636千円はセグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。